

小松節子の ハートフル メッセージ



イックで5回目の卒園式

弊社が運営する企業主導型保育園・インターナショナルキッズコミュニティ(通称イック・東広島市西条町寺家)の卒園式が3月20日に開かれまして。8人の子どもたちが大きな希望を胸に抱きながら巣立っていきま

したり、それぞれが英語で自己紹介や将来の夢を話したりしました。あいさつをする子どもたちは、自然な感じで英語を使いこなし、教育の成果を感じ取ることができました。式の最後は、子どもたち一人一人が「お母さんありがとう」と卒業証書を手渡し、お母さんが子どもを抱きしめる場面があり、感動的な光景に、目頭が熱くなりました。

イックを卒園した1期生は、今春、小学5年生に進級しました。「イックで学んだ子どもたちが、将来、弊社に入社して世界を舞台に活躍してくれたら…」ふと、そんな夢を抱きながら、卒園する5期生を見送りました。(メソニックワールド社長)

に上がったら悩むこともあるでしょう。そのときはイックで学んだことを思い出してもらい、悩みを乗り越えて温かい春を迎えてください」とはなむけの言葉を贈りました。

イックは、子どもたちの健やかな成長と、子育てをしながら働く女性たちを応援したい、という思いから、2019年に開園しました。遊びながら日本語、英語、スペイン語、中国語の4カ国語を学べるのが特長で、国際性豊かな子どもたちの育成を目指しています。卒園式は今回が5回目。園児たちは、保護者の前で、太鼓の演奏を披露

私は、『冬は必ず春になる』という言葉を引用しながら、「小学校



イックで5回目の卒園式